

2015年10月18日(日)木村真三さん講演会パートⅡ「ベラルーシ・ウクライナと飯舘村」

講師: 木村真三さん ゲスト: 伊藤延由さん

参加者感想まとめ(一部抜粋)

4年半が過ぎて、切迫感が薄れていく中、改めて放射能汚染の恐ろしさを気づかされました。前半の伊藤さんのお話は、大変具体的に実際の放射能測定をした数値を知ることができ、貴重な報告でした。また、木村先生の講演は、自らデータを集めて検証されてきた研究・仮説に触れることができ、良心をもった科学者の警鐘として信頼してお話を聞くことができました。このような貴重なお話を無料で聞くことができ、また、場所も地下鉄にとっても近いエルパークで、福島から出かけた者には大変便利で助かりました。また、このような講演会や上映会をいずみが開催して下さることを期待しています。(抜粋)

ありがとうございました。色々なことを感じました。うまくまとめる事ができませんが、活動に感謝いたします。私は2011年に震災直後の福島で1年暮らしました。思い出したくない気持ちもありますが、向き合わなければならないとも思います。暗たんとして日本がこの先どうなるか不安ですが、考えなければならない事だと思います。ありがとうございました。

具体的なデータ、事実に基づいた伊藤さん、木村准教授の講演は、とても興味深い内容でした。とりわけ、「原発」事故という狭い領域にとどまらず、世界情勢、政治状況、歴史的事実を踏まえて話す姿勢に感心しました。事実は誰にも否定できないはず。事実を積み重ねて、そのデータを広めていくということを、生活者としては(簡単にできるので)そんな程度のことを協力して共に活動していきたいと思いました。

現場の実態痛感。木村真三先生、学者の鏡。

特に、伊藤さんのお話で汚染されてしまった村のことを臨場感をもって実感することができました。豊かな暮らしが奪われてしまったこと、犠牲になってしまったこと、一市民として目をそらせません。人間にとって取り返しのつかないこと(惨事)です。何が(どんな支援が?)できるのか考えています。このような講演会をありがとうございました。

以前もおききました。今回ではっきりとお考えをすることができました。真実を明らかにすること。そのための挑戦。私たちも真実を知ること。ごまかされないこと。追求し続けていくこと一をしてゆきます。先頭を走っていただけること一尊敬いたします。健康に気をつけてください。

安心より心配が増えました。でも、お二人の話を聞いてよかった。二本松の子ども達が読んでいる副読本を私も読みたいと思いました。事故が起きてから、放射能に関して心休まる時はないです。それが自分の宿命なのかなと思うしかないですね。

大変すばらしい講演ありがとうございました。木村先生、次回、ベラルーシ訪問後の報告講演きかせて下さい。

伊藤さんのデータによるお話、2011年のことも、現在のことも、国の対応のいいかげんさがよくわかりました。そのいいかげんさを適当なままで住民に知らせ、帰村させ、補償打ち切りなどもってのほかと思います。「豊かな食卓と豊かな心の飯舘村」が心に残りました。それを一瞬にしてなくした「原発」はとんでもない！です。木村さんのお話は、特に、二本松で小学生から中学生までに出前授業をして、真実を伝えることを次の世代へ伝える力として大切に考えていることがわかりました。ウクライナ・ベラルーシで測定しつづけていることから、日本も学ばなければならないと思います。国にも働きかけ、測定を続けるための施設や機材など予算化させていかなければならないですね。

伊藤さんのお話が聞けてよかったです。継続的な定点観測の重要性を強く感じました。木村さんのお話は、「新潟水俣病」と「2015年9月18日の水害」を重ね合わせて、政府・自治体の危機管理のせい弱さを示した点、説得力がありました。困難な状況がひとつも改善されずに続くなかですが、これからも信頼できる情報発信をお願いいたします。どうぞお体に気をつけて。
時間を経るにつれ、放射能に対する意識が薄れつつあり、再び無関心によるクライシスを迎えるのではないかと危惧しております。木村先生と伊藤さんが強調された「測り続けることが大切」という言葉を忘れてはならないと思いました。(抜粋)
放射能の低減が、直接に農作物や山菜の放射線量に反映していないことは大事な事実として分かりました。『科学的』ということの厳密さ→データに基づいて、分かったことを伝えるという姿勢に共感します。貴重なお話をありがとうございました。
大変参考(勉強)になった。
木村先生のような話をして下さる方が増えてくれるとよいと思いました。
胸が苦しくなる内容でした。今迄 真実を知らされていない現実(マスコミ)が恐ろしくも。木村先生、ご自身のお体も大切になさって下さい。
放射線被害を隠そうとする行政にさからって調査・行動する方が1人でもいらっしゃる事、それにより我々も現実を知ることができて良かったです。この輪が広がれば良いと思います。除染した廃棄物を入れた袋が先日の大雨で流された事、水没した事、はじめて知りました。放射線被害を小さくみせ、補償金の支払いをカットするため帰村をすすめる。国民の命より、金もうけの政治を変えさせなければと思います。
放射能の恐ろしさを改めて認識させられました。「今だけ、金だけ、自分だけ」の目先の利益を求める経済の動きが、また新たな事故を起すのではないかと思います。絶望的な世界に既に入っていると思います。高濃度汚染地域の問題だけではなく、全国、全世界の人々に共通である。
木村先生の思いが伝わる話でした。伊藤さんの話、飯舘への思い、伝わりました。自らの足をつかってデータを収集し、伝える貴重な活動・・・頭がさがります。ぼうがいも、ひぼう中傷も、いっぱいあると思いますが・・・これからも長一い対応をよろしくおねがいします。反論の出ないデータづくりすばらしいです。多くを学ばせていただきました。
又、3回目もお願いします！！友人・知人をさそいます。ぜひ お願いします！！木村先生、15年間の積み重ね、本当にありがとうございます！伊藤さんのおはたらき、本当にありがとうございます！
参考になる講演ありがとうございました。公表にもっともっと注力し、より多くの人々に伝えるようにして欲しいし、ぜひそうすべきと思います。(抜粋)
改めて放射線の恐ろしさを痛感した。
勉強しました。(抜粋)